

卒業時達成
レベル

A B C D -

100%

80%

60%

30%

0%

1

倫理観、態度、意欲

生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観を持ち、自ら学習し成長し続ける姿勢を身につけている。

- 1 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力
- 2 実施する看護を説明し意思決定を支援する能力
- 3 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力
- 4 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力

基盤となる倫理観と姿勢を示すことができる

基盤となる倫理観と姿勢の重要性が理解できる

基盤となる倫理観と姿勢に関心をもつ

基盤となる倫理観と姿勢を意識している

修得の機会がない

2

創造性、探究力、国際的視野

幅広い教養と国際的視点から看護に関する課題を探究できる。

- 5 国際的視点から看護の対象となる人を理解する基本能力
- 6 健康課題を発見し、科学的探究心を持ち、必要な方法論に基づいて研究する能力
- 7 研究で得られた結果を明確に理解し、説明する能力
- 8 社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

基盤となる（看護に関する）課題を創造できる

基盤となる課題を検討できる

基盤となる課題に関心をもつ

基盤となる課題を意識する

修得の機会がない

3

知識、批判的思考力

対象者の健康、環境に関する知識を修得し、諸問題を科学的根拠や批判的思考に基づいて検討できる。

- 9 看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力
- 10 人間を生物学的に理解しアセスメントに活かす基本能力
- 11 人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力
- 12 人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力
- 13 根拠に基づいた看護を提供する能力
- 14 計画的に看護を実践する能力
- 15 健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力
- 16 個人と家族の生活をアセスメントする能力
- 17 地域の特性と健康課題をアセスメントする能力

修得した課題・問題解決方法を活用できる

修得した知識を基に課題・問題の解決方法が検討できる（アセスメントできる）

修得した知識を基に課題・問題の解決のための検討方法が理解できる（アセスメント方法が理解できる）

基盤となる知識を修得している

修得の機会がない

4

実践力、応用力、共感能力

対象者の健康状態と生活を的確にとらえ、人への尽きない関心と思いやりをもって看護技術を提供できる実践力を身につけている。

- 18 看護援助技術を適切に実施する能力
- 19 健康の保持増進と疾病を予防する能力
- 20 急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力
- 21 慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力
- 22 エンドオブライフにある人と家族を援助する能力
- 23 安全なケア環境を提供する能力

基本となる技術を応用できる

基本となる技術を適切に実施できる

基本となる技術を正確に実施できる

基本となる技術を手順通りに実施できる

修得の機会がない

5

コミュニケーション能力、チームマネジメント

地域社会における健康課題を把握し、保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントができる。

- 24 援助的関係を形成する能力
- 25 地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力
- 26 保健医療福祉における看護の質を改善する能力
- 27 地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力
- 28 保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力

基盤となる協働やマネジメントの姿勢を示すことができる

基盤となる協働やマネジメントの重要性が理解できる

基盤となる協働やマネジメントに関心をもつ

基盤となる協働やマネジメントを意識する

修得の機会がない